

ろうきょう

●発行/労働者供給事業関連労働組合協議会
(略称 労供労組協)

●発行人/ろうきょう編集委員会

〒110-0003 東京都台東区根岸3-25-6 タブレット根岸2F
TEL 03(5603)7880 FAX 03(5603)7265

労供労組協第31回総会開催される — 労供労組協発足30周年、節目の総会 —

去る4月17日(木)、午後2時よりタブレット根岸5階会議室にて12組合、33名の参加の下、労供労組協発足30周年の節目となる、第31回総会が開催されました。

最初に伊藤彰信議長から、今年、労供

年という節目の年にあたる。現在、また労働者派遣法の改正案が国会に上程されている。これは、これまでの臨時的、一時的な労働であった派遣労働を常時使えるようにしていくという法案だ。

このような情勢の中で、労働者供給の役割というのは労働組合の運動にとってますます重要になってきていると思っ

年以降の運動を取り組んでいきたい。一との挨拶がありました。その後、横山南人事務局長から2012年度経過報告と2013年度活動方針提案がありました。

経過報告では、労働者供給事業法の制定に向けての要綱案の検討について、4役員を明確にしたこと、労供労組協への参加の呼びかけについて、新たに全国トラック労働組合が加盟したことが報告されました。

學院大學経済学部の本田一成教授にお話いただくとの報告がありました。

活動方針については、昨年に引き続き、労働者供給事業法の制定に向けての要綱案の検討が掲げられ、新たな方針として、労供事業の拡充・事業法制定に向けてナショナルセンターや政治・行政への働きかけ」と、労供労組協結成30周年記念行事を行うことが掲げられました。

質疑応答では、以前、日雇雇用保険の求職者給付金の資格取得要件の緩和について、署名、要請を行ったが、その実現性についての見通しはどうか、という質問がありました。



伊藤議長から、厚生労働省は要件緩和は全く考えていない。むしろ、日雇雇用保険や特例健康保険はなくしていこうとしている。そういう意味から、日雇い労働者がいて、このような保険があることをアピールしていく

という目的だ。との回答がありました。その後、各組合の事業報告に先立ち、新加盟の全国トラック労働組合の清水友希執行委員長より、2013年3月に前委員長が急逝し、4月に新たに委員会を設立し、事務所探し、変更手続き、挨拶

望により2名を正規労働者にすることができました。との挨拶がありました。

各組合の事業報告では、労供労連、全港湾および同労組の介護家政職支部、全日建運輸本部および近畿地本、コンピュータ・ユニオン、音楽ユニオン、サービスマン、フオーラムジャパン)、東京ユニオン、建交労(兵庫)、奈良ユニオンからの報告がありました。

また、オプザバー参加の板橋区立学校従業員労働組合からも労働の取り組みをご報告いただきました。



さらに、國學院大學経済学部の労供研究会については、2013年7月に再開し、この間、労働者供給事業(労供)組合員の就業実態と意識に関する調査を行い、総会后、その集計結果を労供研究会事務局である國

昨年年度は組合員全員がアプレ手当を失効するところもなく個々人にあつた就労日数を確保することができた。また供給先企業、組合員双方の希

2014年度役員【

- 議長 伊藤彰信 (全港湾)
- 副議長 太田武二 (新運転)
- 事務局長 横山南人 (電算労)
- 事務局次長 青谷充子 (音楽ユニオン)
- 同右 江藤希倫利 (電算労)
- 同右 橋本 拓真 (サービスマン)
- 同右 真島勝重 (全港湾)
- 会計監査 緒方承武 (映演共闘)

労供組合員アンケート調査結果報告

労供研究会事務局長 國學院大學本田一成教授

國學院大學労供研究会における、労働者供給事業組合員の労働実態と意識に関する調査を労供研究会事務局長である、國學院大學本田一成教授にご報告いただきました。

この調査は左記の通り実施されました。
実施期間平成25年11月～26年1月
配布労供労組協

票 今回集計分) 728

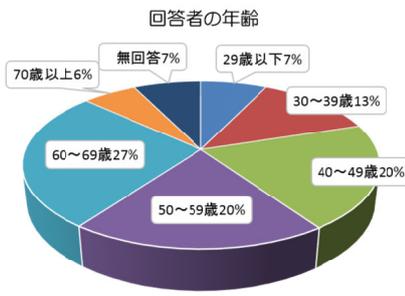
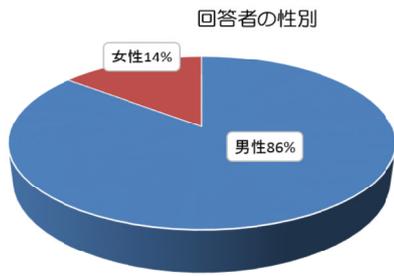
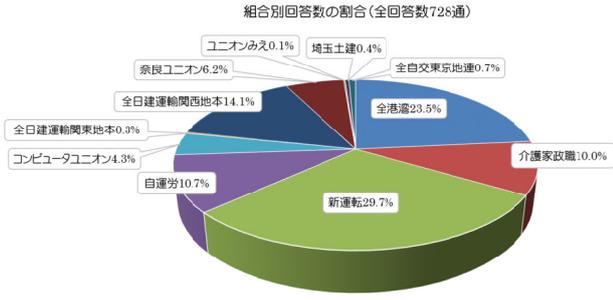
有効回収数) 728

回答者の女性の組合別構成は介護・家政職ユニオン70.4%、奈良ユニオン11.2%、コンピュータ・ユニオン10.2%、それ以外の組合は数%でした。

組合在籍年数は、3年未満、10年未満で女性が多く、20年以上で男性が多くなっています。平均の在籍年数は男性12年10ヶ月、女性6年8ヶ月となっています。

「どちらともいえない」は1点、利点だとは思わない」は0点を付与すると、左記のようになります。

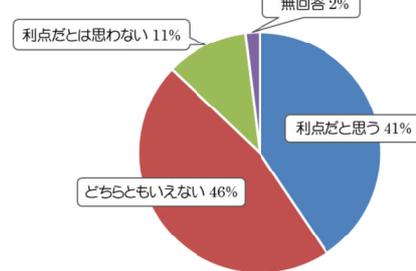
- 1.74
- 1.35
- 1.30
- 1.25
- 1.24
- 1.21
- 0.86
- 0.64



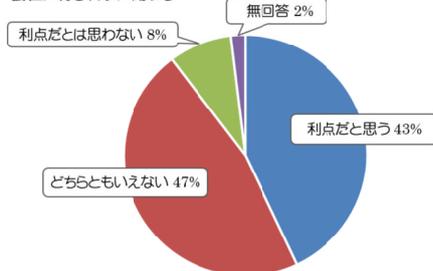
【仕事に関して】

- 組合が仕事を紹介してくれる
- 会社に縛られず働ける
- 自分のペースで仕事ができる
- 自分の能力を生かせる
- 仕事を身につけられる
- 人間関係がわずらわしくない
- 正社員になるチャンスがある
- 独立開業できる

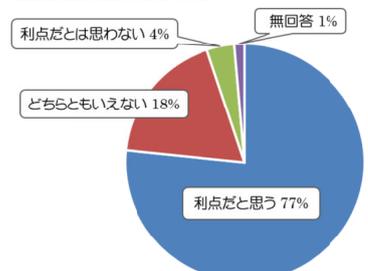
自分のペースで仕事ができる



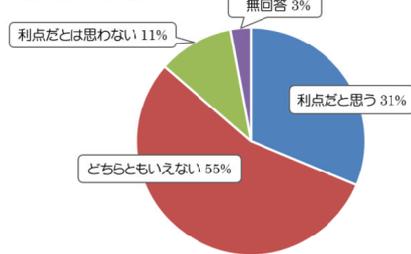
会社に縛られず働ける



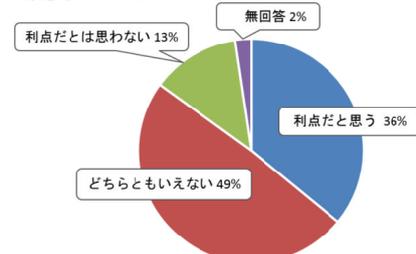
組合が仕事を紹介してくれる



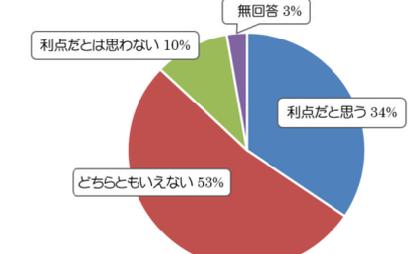
人間関係がわずらわしくない



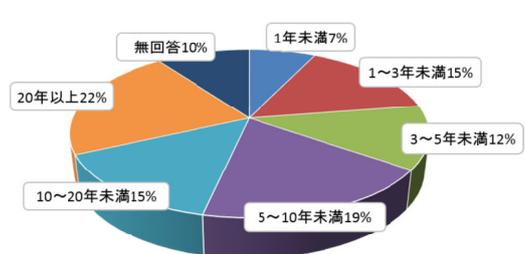
仕事を身につけられる



自分の能力を生かせる



回答者の組合在籍年数



【労働条件に関して】

- ①時給または日給が高い 1. 38
- ②都合のよい時間帯に働ける 1. 18
- ③組合の交渉で賃金が上がる 1. 16
- ④毎月の収入が多い 1. 139
- ⑤希望する生活をするのに都合がよい 1. 136
- ⑥仕事に応じて賃金が上がる 1. 08
- ⑦都合のよい勤務地で働ける 1. 06
- ⑧上司による成績評価がない 1. 00

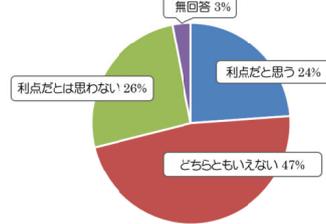
【社会・労働保険に関して】

- ①健康保険が整っている
- ②雇用(失業)保険が整っている
- ③労災保険が整っている
- ④厚生年金が整っている

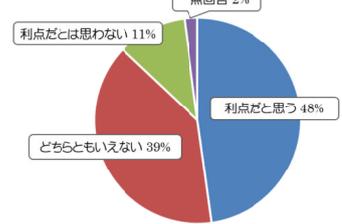
【組合に関して】

- ①組合が労働条件をきちんと決めてくれる 1. 56
- ②組合が安全衛生を重視している 1. 45
- ③何かあれば組合が守ってくれる 1. 41
- ④組合が苦情を聞いてくれる 1. 408
- ⑤組合の共済制度が整っている 1. 406
- ⑥組合費が適正である 1. 29
- ⑦組合が公平に仕事をまわしてくれる 1. 28

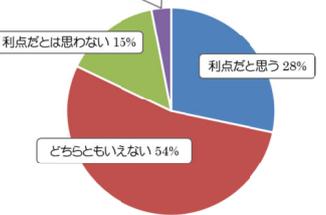
都合のよい時間帯に働ける



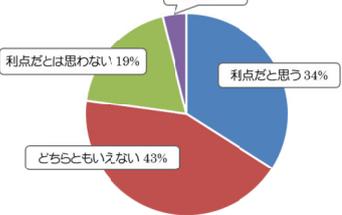
時給または日給が高い



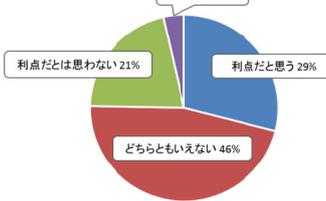
毎月の収入が多い



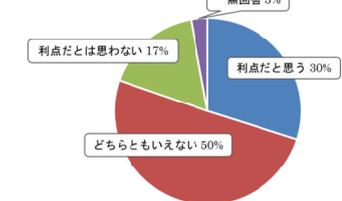
組合の交渉で賃金が上がる



仕事に応じて賃金が上がる

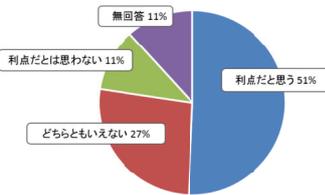


希望する生活をするのに都合がよい

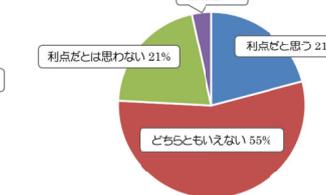


各利点のポイント(加算)は、**仕事に関して**が9.57点/16点(約60%評価)、**社会労働保険に関して**が5.01点/10点(約50%評価)、**組合に関して**が10.93点/16点(約68%評価)でした。

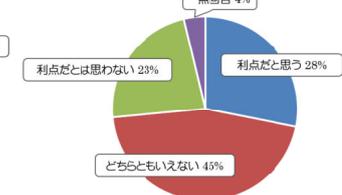
健康保険が整っている



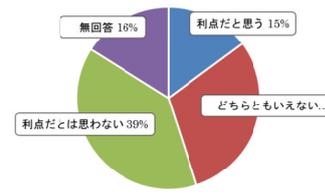
上司による成績評価がない



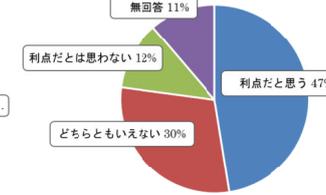
都合のよい勤務地で働ける



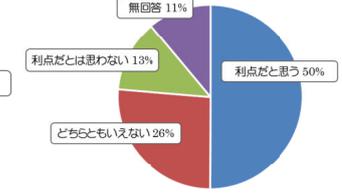
厚生年金が整っている



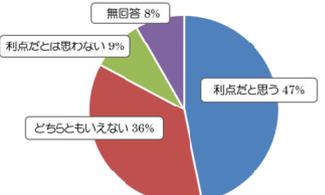
労災保険が整っている



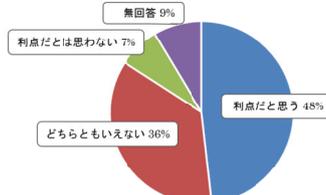
雇用(失業)保険が整っている



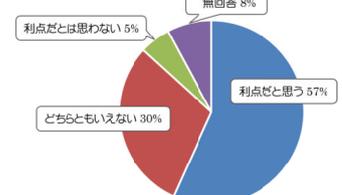
何かあれば組合が守ってくれる



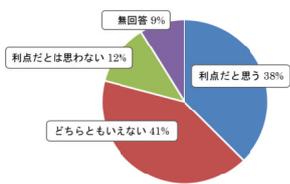
組合が安全衛生を重視している



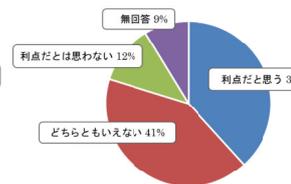
組合が労働条件をきちんと決めてくれる



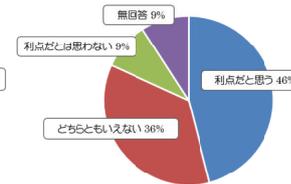
組合が公平に仕事をまわしてくれる



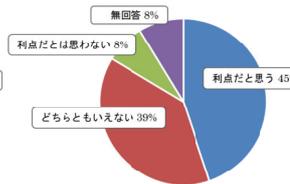
組合費が適正である

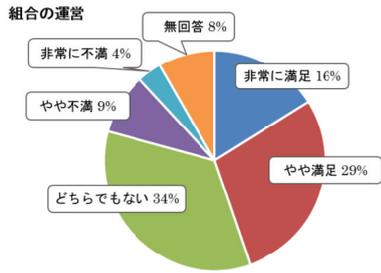


組合の共済制度が整っている



組合が苦情を聞いてくれる





労供で働くようになった理由(複数回答可)

「将来設計のしやすさ」
2.64点

「生活水準」
3.18点

「暮らしやすさ」
3.21点

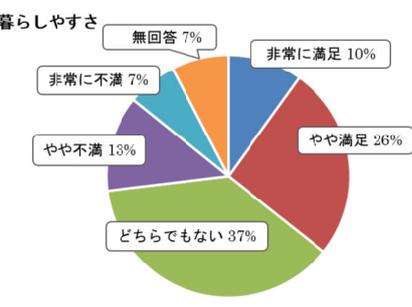
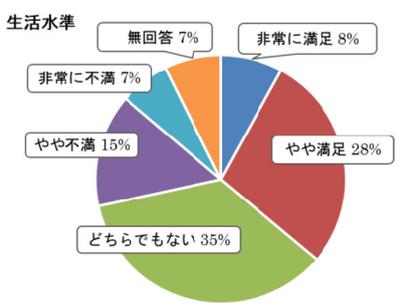
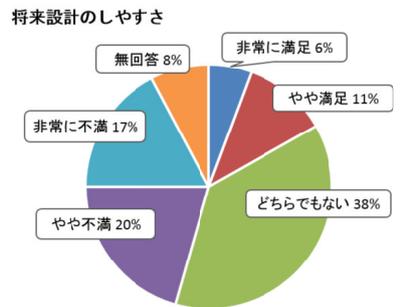
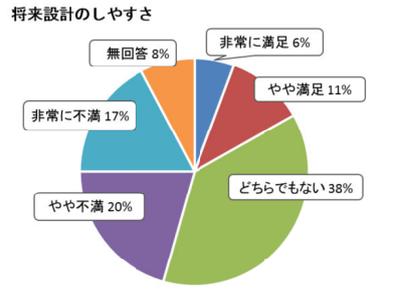
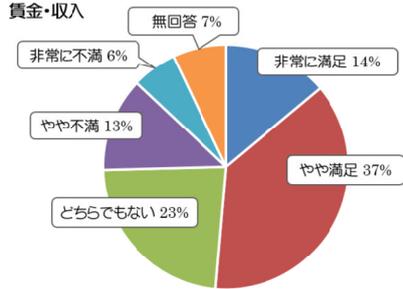
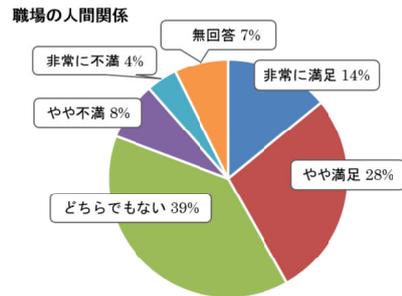
「職場の人間関係」
3.43点

「賃金・収入」
3.44点

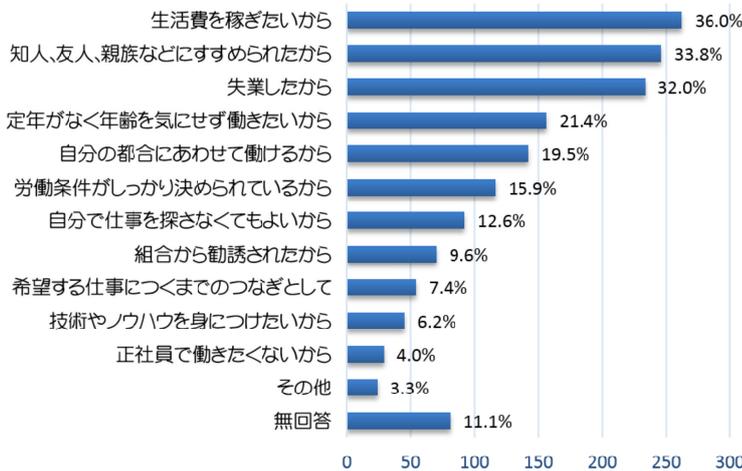
「仕事の時間・日数」
3.487点

「組合の運営」
3.488点

労供に対する満足度については、満足度ポイント(非常に満足)5点、やや満足4点、どちらでもない3点、やや不満2点、非常に不満1点を付与を設定し、見てみました。



労供で働くようになった理由(複数回答可)



理由は、左記のグラフの通りで、「生活費を稼ぎたいから」が一番多く36%でした。次いで、「知人・友人、親族などに勧められた」、が38.8%、失業したから」が32%、年齢を気にせず働きたいから」が21.4%ありました。賃金や労供の経験年数等は、下記グラフの通りでした。

